

(平成28年7月分)

部 門	市況の概要
(青果部の動向) 全 般	<p>7月の青果物は、一部の品目で主力産地の天候不順による影響があったものの、6月の好天により概ね作柄が良く、入荷量、価格ともに前年同月並みとなった。</p> <p>8月は、枝豆やとうもろこし、露地物のブドウ等が最盛期を迎え、松茸や新物のリンゴ、日本梨等の入荷が始まる。</p>
野 菜	<p>野菜は、根菜類や土物類、トマト等の一部の品目で主力産地の天候不順による影響があったものの概ね作柄が良く、入荷量は前年同月並みとなり、価格は高値推移した前年同月から4%下回った。</p> <p>根菜類は、入荷量が前年同月比で9%下回り、価格は7%上回った。</p> <p>葉菜類は、入荷量が前年同月比で8%上回り、価格は11%下回った。</p> <p>果菜類は、前年同月比で入荷量が6%下回り、価格は高値であった前年同月並みとなった。</p> <p>土物類は、入荷量が前年同月比で4%下回り、価格は高値であった前年同月並みとなった。</p>
果 実	<p>果実は、桃類やスイカ等の果実をはじめ、6月の好天により主要産地の作柄が良好で前進出荷傾向となり、食味も良好で消費を後押しし、前年同月比で入荷量・価格ともに4%上回った。</p> <p>柑橘類は、極早生と早生の端境により、前年同月比入荷量が32%下回り、価格は22%上回った。</p> <p>リンゴ類は、産地在庫が少なく高価格となり、入荷量は前年同月比32%上回り、価格は22%下回った。</p> <p>モモ類は、前年同月比入荷量が8%上回ったが、昨年より上位等級が多く、価格は前年同月並みとなった。</p> <p>ブドウ類は、前年同月比で入荷量が9%下回り、価格は9%上回った。</p> <p>メロン類は、入荷量は前年同月比5%下回り、価格は17%上回った。</p> <p>スイカ類は、入荷量は前年同月比で6%上回ったが、昨年より上位等級が多く単価高となり、価格は29%上回った。</p>

主要品目（野菜）	市況の概況
【根菜類】	
長ダイコン	北海道，青森から入荷され，入荷量は前年同月比で8％下回り，加工需要の高まりから，価格は前年同月並みとなった。
西洋ニンジン	北海道，青森から入荷され，入荷量は前年同月を14％下回り，価格は15％上回った。
【葉菜類】	
ハクサイ	長野から入荷され，減少傾向にあった作付面積の回復により，入荷量が前年同月を13％上回り，価格は32％下回った。
キャベツ	長野，群馬，北海道，滋賀から入荷され，入荷量は前年同月並みとなったが，業務加工用の需要の落ち着きや近郷産地の品質低下により，価格は22％下回った。
ハウレンソウ	岐阜を中心に茨城，群馬，京都，滋賀から入荷され，入荷量・価格とも前年同月並みとなった。
レタス	長野から入荷され，入荷量は前年同月を22％上回り，価格は28％下回った。
【果菜類】	
キュウリ	福島，愛媛，北海道，京都，滋賀から入荷され，天候不順により前年同月比で入荷量は9％下回ったが，価格は前年同月並みとなった。
ナス	徳島，岐阜，京都から入荷され，前年同月比で入荷量は4％上回り，価格は6％下回った。
トマト	冬春産地の熊本と福岡，夏秋産地の北海道と岐阜，京都から入荷され，6月の北海道の長雨が影響し前年同月比で入荷量は12％下回り，価格は10％上回った。
ピーマン	大分，兵庫から入荷され，6月下旬の天候不順で前年同月を14％下回ったが，価格は単価高だった昨年同月を9％下回った。

【土物類】

バレイショ
(メーカー含む)

長崎，千葉，茨城から入荷され，入荷量は前年同月並みとなったが，気温上昇により需要が低迷し，価格は高値だった昨年から17%下回った。

タマネギ

兵庫から入荷され，全国的に病害の影響で不足し，入荷量は不作だった前年同月を更に10%下回り，価格は17%上回った。

【その他野菜】

生シイタケ

主に徳島から入荷され，入荷量が前年同月を10%下回ったが，一般野菜の潤沢な出回りと気温上昇により需要が低迷し，価格は4%下回った。

主要品目（果実）	市況の概況
ハウスミカン	佐賀，長崎，大分，和歌山から入荷され，極早生品種と早生品種の端境となって入荷量が前年同月を22%下回り，価格は9%上回った。
ふじ	青森から入荷され，産地在庫一掃のため入荷増となり，前年同月比で入荷量は64%上回り，価格は27%下回った。
桃	山梨，和歌山，長野，福島から入荷され，入荷量は入荷の少なかった前年同月を8%上回ったが，昨年より上位等級の比率が多く価格は前年同月並みとなった。
デラウェア	山形，山梨，鳥取，大阪から入荷され，入荷量が前年同月を16%下回り，価格は9%上回った。
アールス	静岡を中心に高知から入荷され，前年同月比で入荷量は23%下回り，価格は15%上回った。
アンデス	熊本，茨城，山形から入荷され，産地に事前に数量要請を行ったことで，入荷量は前年同月を29%上回ったが，茨城産の入荷減に伴い価格は30%上回った。
大玉スイカ	鳥取，石川，長野，山形から入荷され，前進出荷により入荷量は前年同月を7%上回ったが，上位等級の割合が多かったこと，好天に恵まれ引き合いが強まったことから価格は31%上回った。